

第13回 胆振東部森林再生・林業復興連絡会議

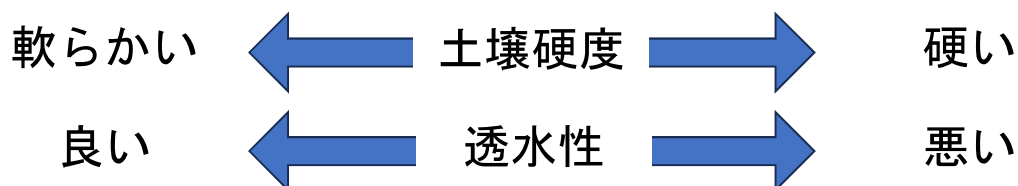
# 林業試験場の研究成果報告



## 崩壊斜面の土壌評価

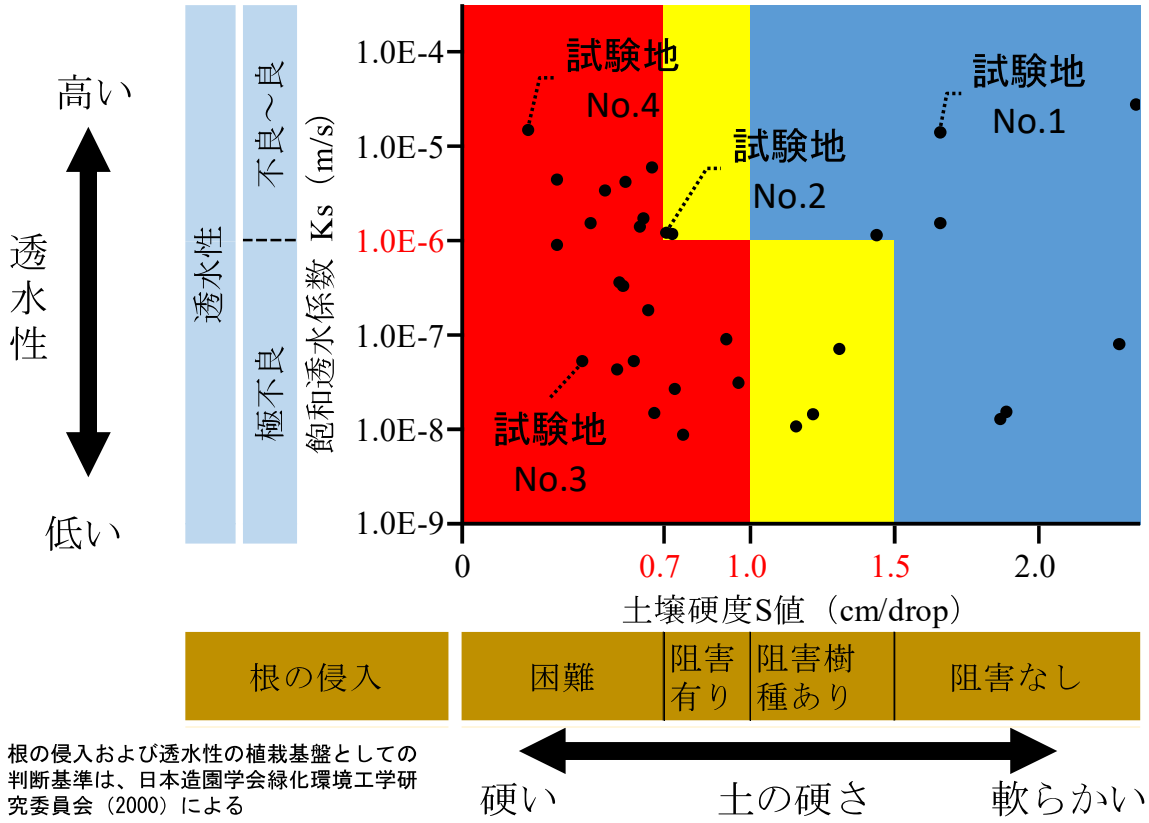
1

- ・崩壊斜面（地すべり崩壊斜面）の土壌条件は、植生基盤としては土壌硬度と透水性に問題あり。  
→これらの値の良否を判断基準として、土壌評価。



# 崩壊斜面の土壌評価

土壌評価 良 ■ 中 ■ 悪 ■



## 植栽試験地の生育状況

土壌評価

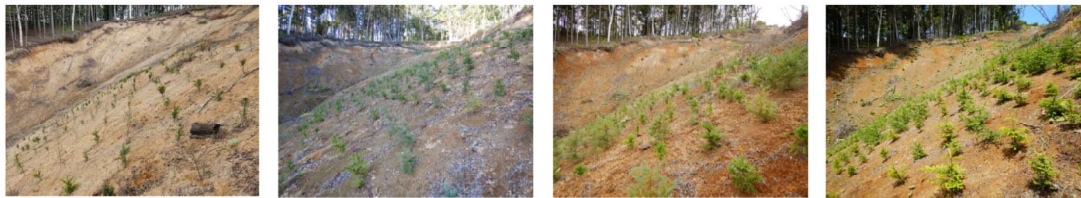
良

試験地 No.1



中

試験地 No.2



悪

試験地 No.3



2020.6  
(植栽時)



2021.9  
(2年目)



2022.9  
(3年目)

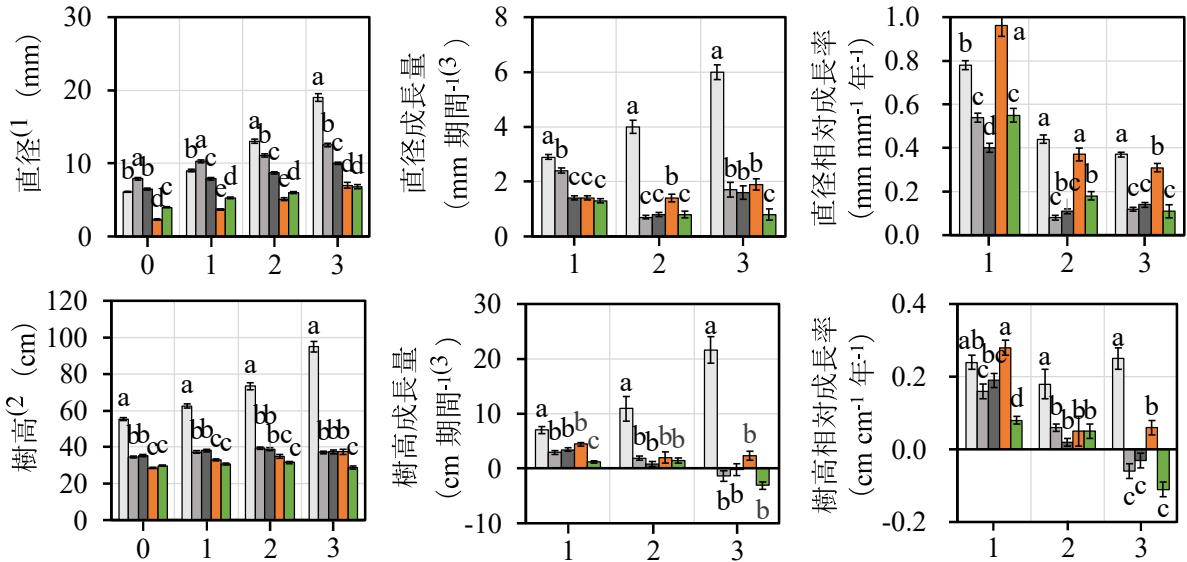
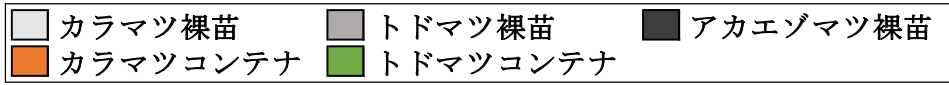


2023.6  
(4年目途中)

良

試験地No.1  
(北向き)

・植栽からの年数が0は植栽時(2020年6月), 1は1年目(2020年10月), 2は2年目(2021年9月), 3は3年目(2022年9月)。<sup>1)</sup>地際から10cmの高さの直径。<sup>2)</sup>鉛直方向の高さ。<sup>3)</sup>植栽からの年数が1の期間は2020年6月~11月までの期間, 植栽からの年数が2の期間は2020年11月~2021年9月までの期間, 植栽からの年数が3の期間は2021年9月~2022年9月までの期間。  
・図中の異なるアルファベットは, 同じ年における樹種間に有意差があることを示す(p<0.05)。



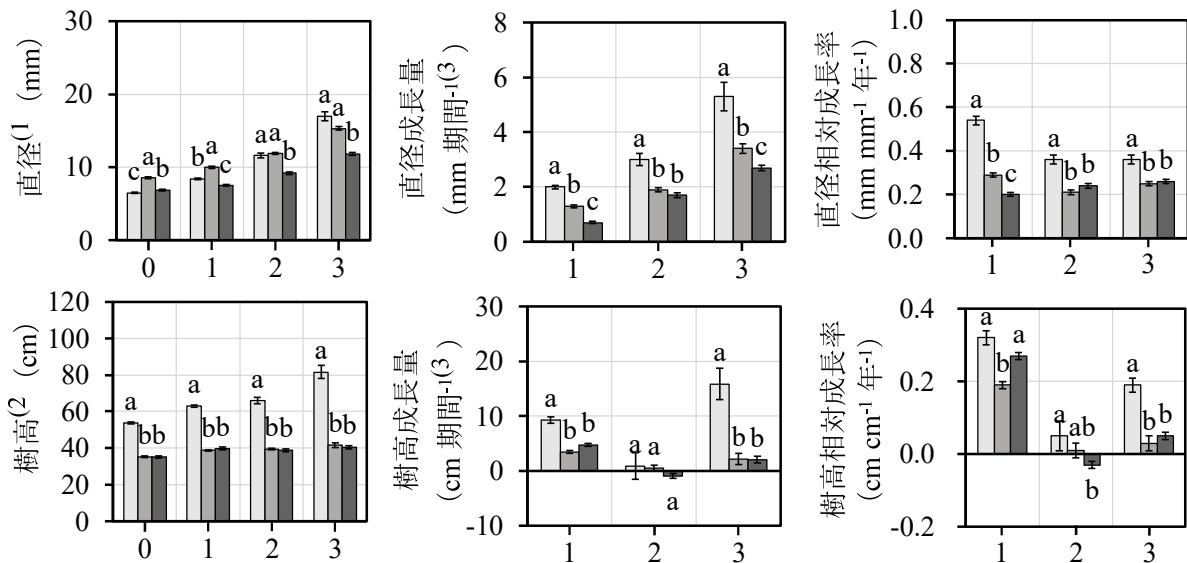
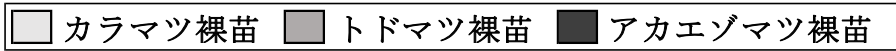
カラマツの生育が最も良い 植栽からの年数

2) 樹高(鉛直方向の高さ)は根元曲がりの影響であまり伸びていない

中

試験地No.2  
(北向き)

※コンテナ苗試験地は, 倒木の下敷きになったため欠測とした。



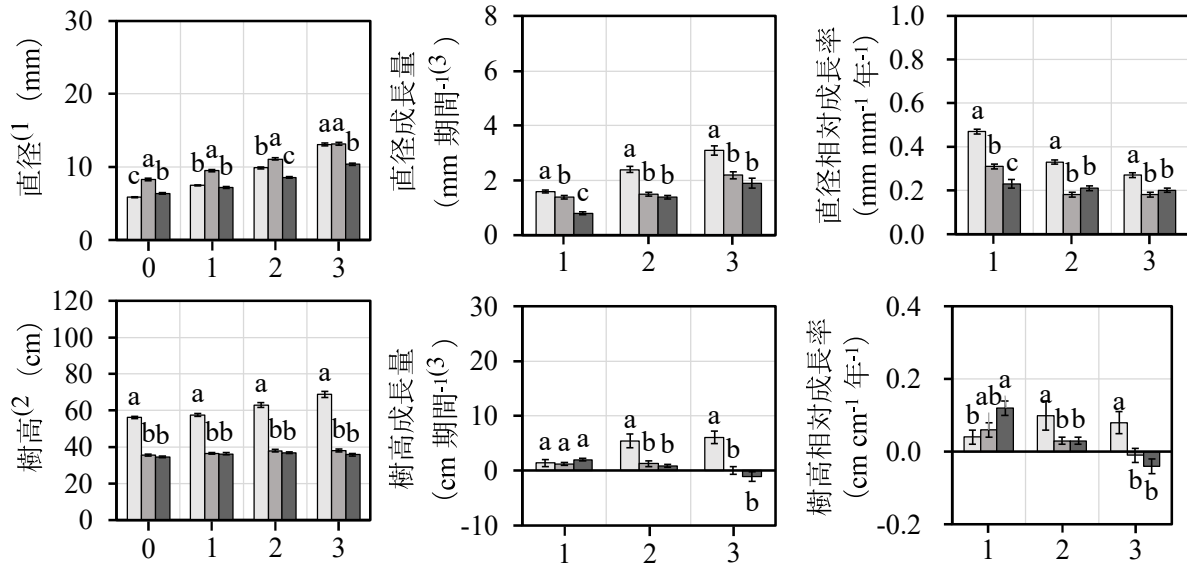
カラマツの生育が最も良いが、植栽からの年数  
土壌による生育阻害の影響が見られる

悪

カラマツ裸苗 トドマツ裸苗 アカエゾマツ裸苗

試験地No.3  
(北向き)

※コンテナ苗試験地は、天然更新したカラマツに被圧されたため欠測とした。



各樹種とも生育が悪い

植栽からの年数

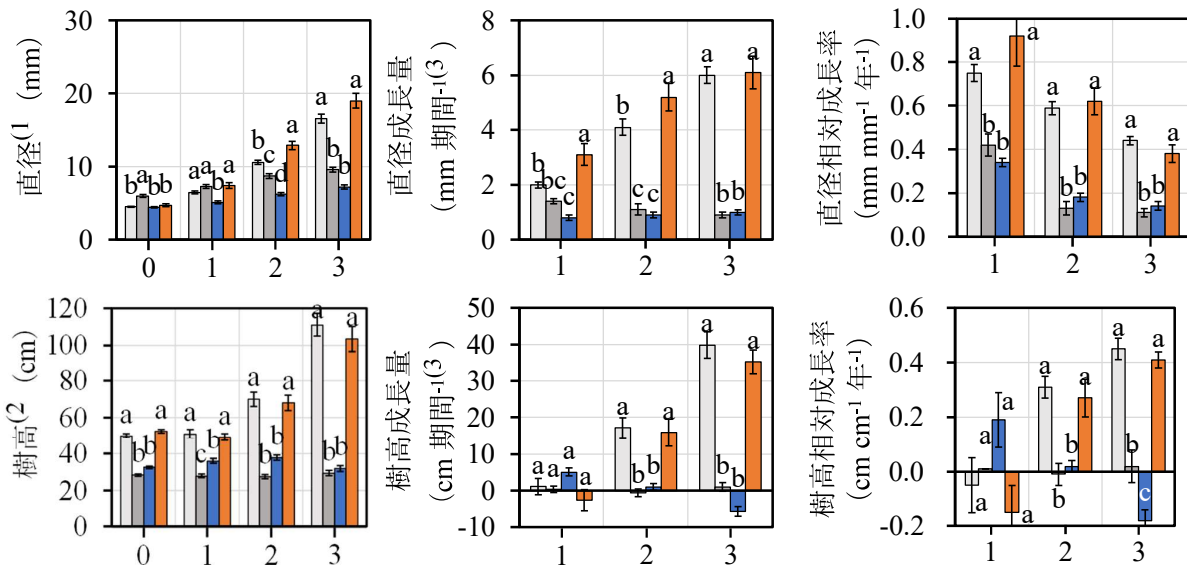
悪

土壤硬度が高いため「悪」としたが、透水性は良い。  
(厚真町幌内地区の一部で見られる岩盤地すべり崩壊斜面)

試験地No.4  
(南向き)

※アカエゾマツ (寒風害で大半が枯死) は除いて統計処理した。

カラマツ裸苗 トドマツ裸苗  
ミズナラ裸苗 ケヤマハンノキ裸苗



カラマツ・ケヤマハンノキ  
の生育が良い

植栽からの年数